

工事報告書

工事名称 令和元年度 佐々木家住宅保存修理工事

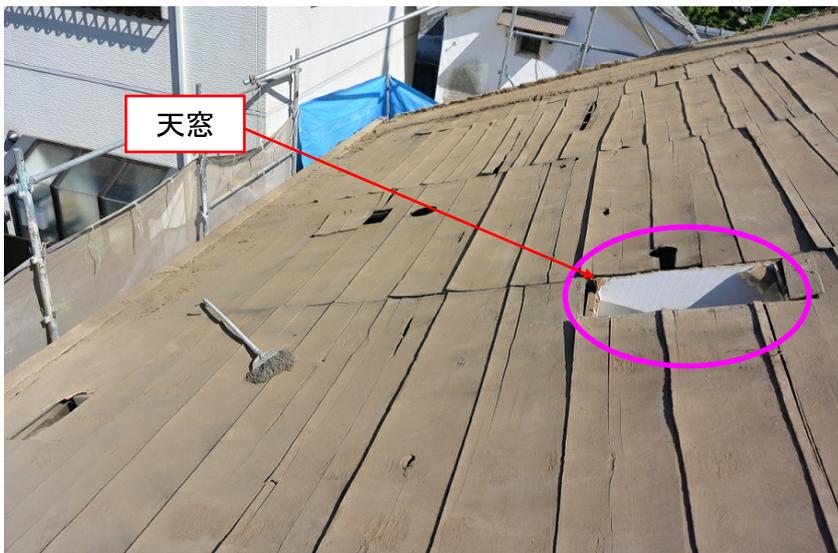
工事期間 令和元年8月1日～11月8日

作成者 株式会社 鈴木古建築 鈴木大祐



瓦降ろし

レッカーを使い埃を抑えて瓦や土を降ろす。



瓦降ろし

土を降ろした後、野地板の掃除及び天井裏の掃除を行う



野地板増し張り

軒先部分は天井裏が漆喰塗の為軒先化粧部は土を残し屋根裏部分は構造合板12mmで高さを合わせて野地板とし増し張りをする。瓦座はすべて新しいものに変える





左官工事

下記の写真のように瓦の裏まで漆喰が上がっている為、瓦を降ろすと、漆喰は全て落ちる。残っていたとしても、同じ場所に瓦は来ない為、軒先の漆喰はすべて塗り替えに成る。

よって、瓦葺き替え時は、軒先



瓦葺き

引っ掛け棧式瓦葺き

瓦 三州いぶし瓦

切り落ち53A瓦

防水紙 下地材

オレフィン系エラスト

マー

ASANO KAGAKU製



左官工事

浮いている漆喰は出来るだけ捲り下地を直し角に面材を入れ角を保護し砂漆喰・仕上げ漆喰で仕上げる





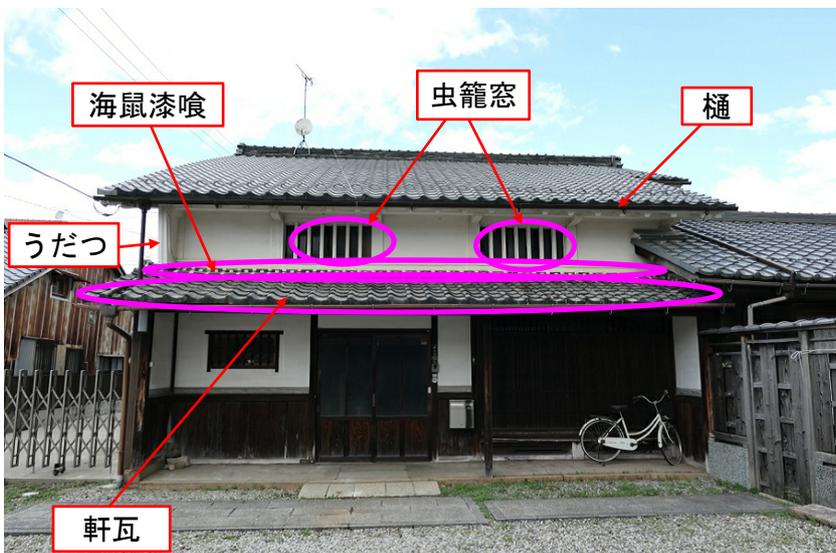
北面軒先

既存鼻隠しにもう一枚打ちケイカル6mmで軒裏を囲い、塗料で保護する



庇屋根

既存屋根の塗装の予定が塗装では無理なため既存プリント板金壁を捲りガルバリウム鋼板で張り替える



南面修理

全体の軒瓦のずれを直す
うだつ漆喰の修理
虫籠窓のヒビ埋め
海鼠漆喰の悪い所直し
南北の樋を新規に変える



完成

西面



完成

北面及び軒先



完成

東・南面

